

Newsletterのバックナンバーはウェブにてご覧頂けます。

冬の運転に備えて

冬の道路は危険でいっぱい！

シンシナティの2012年は予想外の降雪、また道路の凍結による約40台の玉突き事故にはじまりました。暖冬とは言え、やはり冬の運転には注意が必要です。雪の中の運転も危険ですが、Freezing Rain(氷点下の雨)が降ると道路が凍結し、雪以上に危険な道路状態となります。滑ってコントロールがきかず、ぶついたりぶつけられたりするリスクも高まりますので、悪天候のときはできる限り運転しないのが無難です。いったん事故が起こると何時間も渋滞から抜け出せないこととなりますので、突然の災難にいかに対応しているかがポイントとなります。冬の間は特に**ショベル、毛布、防寒用の衣服**などを車に常備しておくといでしょう。今回は、主に北部にお住まいの方向けの情報になりますが、改めて冬の運転につき特集いたします。

冬の道路を運転する際の注意点

1. タイヤのチェック

少なくとも6/32インチ(約0.5cm)の溝が残っているか確認。“All Season”タイヤでも雪の中でのグリップは悪いことがあるため、常に雪が降るようなところにお住まいの方は、“Snow tire (Winter tire)”のご利用をお勧めします。

2. 視界は常に良好に

ワイパーを取り替えたり、フロントガラスの洗浄液に凍結防止剤(Anti-icing fluid)をいれておく。

3. ディフrost性能を使う

霜をとるために、ディフrost性能を使う。ディフrost性能がついていない車はACをつけ、外の空気が入るようする。温度は暖かくてOK。

4. フロントランプ、テールランプのチェック

周りの車から見えるように、ランプについた雪などをきちんとはらっておく。

5. ブレーキを使いこなす

ABS搭載の車であれば、何度も踏まず、一定の圧力をブレーキにかける。ブレーキが振動しているのが感じられたら正常に動いている。

6. “Black Ice”に気をつける

ただの水溜りに見える場合が多いため、見過ごしてしまいがち。

7. ハンドルを過剰にきらない

8. AWD(全輪駆動)やESC(Electric Stability Control)だけに頼らない

AWDだから安心、ESCがついているから安心と過信せず、どんな道路状態でも常に安全運転を試みる。

【出典】Edmunds.com “Driving on Snow and Ice: 10 Safety Tips”

Progressiveのクレーム報告先が変わりました。

現在ご契約者に配布しております「安全運転ガイドブック」に記載されているProgressiveのクレーム報告先が以下のように変わりました。直接Progressiveにご連絡頂いても構いませんが、まず弊社までご連絡頂ければ事故処理をサポートいたします。

Progressive Claim Center 古い番号:800-876-5587 → **新しい番号:800-274-4499**

Loyalty Group Insurance Services, Inc. (LGIS)

3940 Olympic Blvd. Suite250 Erlanger, KY 41018
営業時間 月～金 8am-5pm EST (祝日除く)

日本語サービスデスク

Phone: 859-817-2300 Fax: 859-283-0138

E-mail: hoken@lgisinc.com

WWW.LGISINC.COM



Volume 3, Issue 1, January 2012

今月の英語

black ice

薄氷。透明で、道路上に氷がはっていても気づかないため、スリップの原因に。

skid 【スキッド】

横滑り(する)。スリップする。

pileup 【パイルアップ】

玉突き事故



感謝

このように新年を迎えられましたのも、LGISをご愛顧頂いているお客様のおかげです。今後も皆様が快適に米国で生活できるようスタッフ一同尽力して参ります。本年もどうぞよろしくお願いたします。

お見積もりから保険に関するご質問など
お気軽にご相談下さい！

